



2021年2月期 第1四半期決算説明資料

2020年7月15日

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
(証券コード：2884)

売上高

M & Aによりグループ化した子会社が貢献したことにより、前年同期比**110%**となる

営業利益

新型コロナウイルス感染症の影響により、国内事業は巣ごもり消費の増加に伴い増益となるも、海外事業は売上減少に伴い減益となり、かつ、保守的に引当金（棚卸資産、売掛金等）を計上したため前年同期比**100%**となる

経常利益

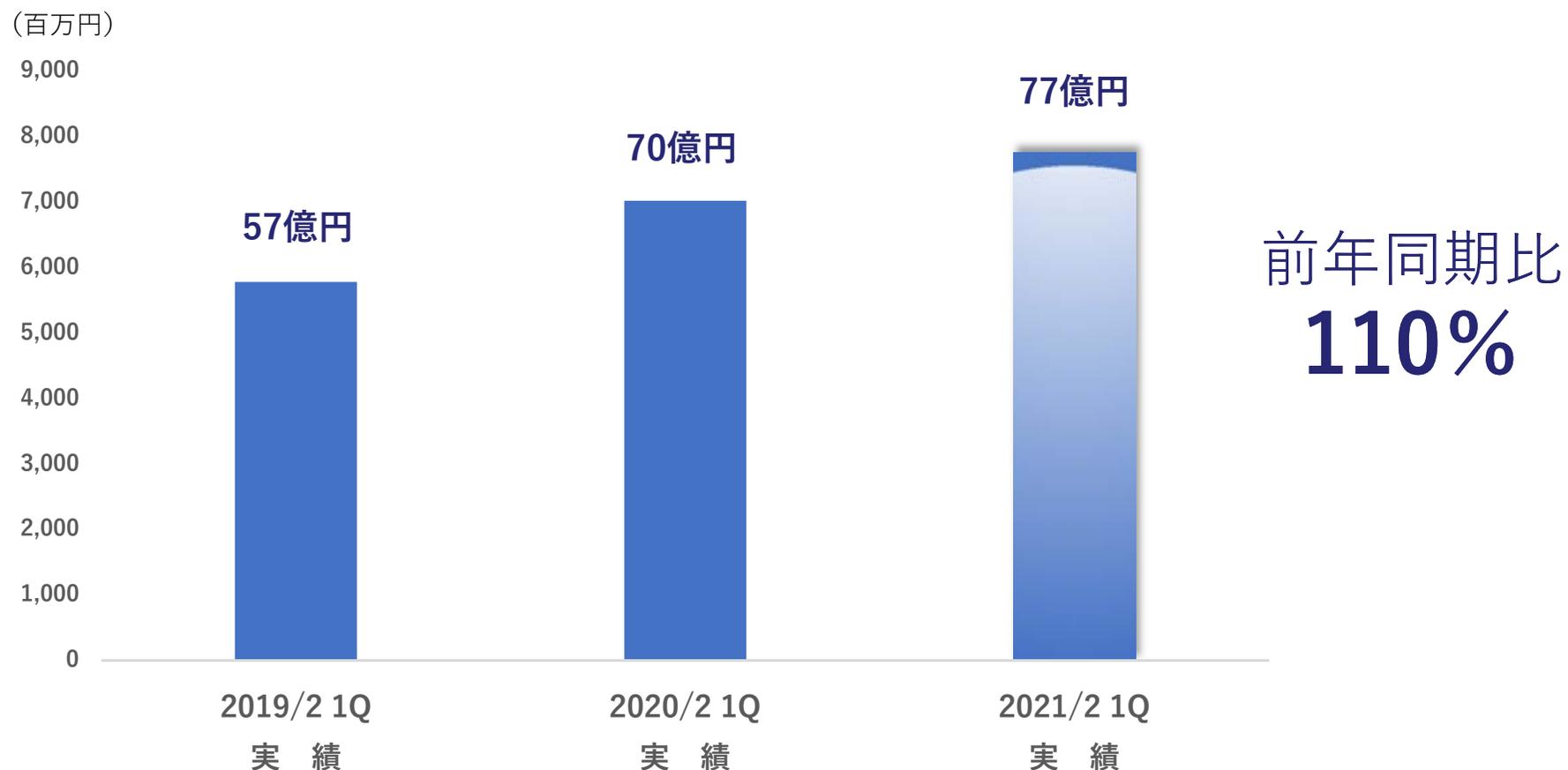
外国為替相場の変動の影響により為替差損134百万円を計上した結果、前年同期比**41%**となる

- I. 2021年2月期 1Q決算ハイライト
- II. 2021年2月期 1Q決算概要
- III. トピックス
- IV. Appendix

I. 2021年2月期 1Q決算ハイライト

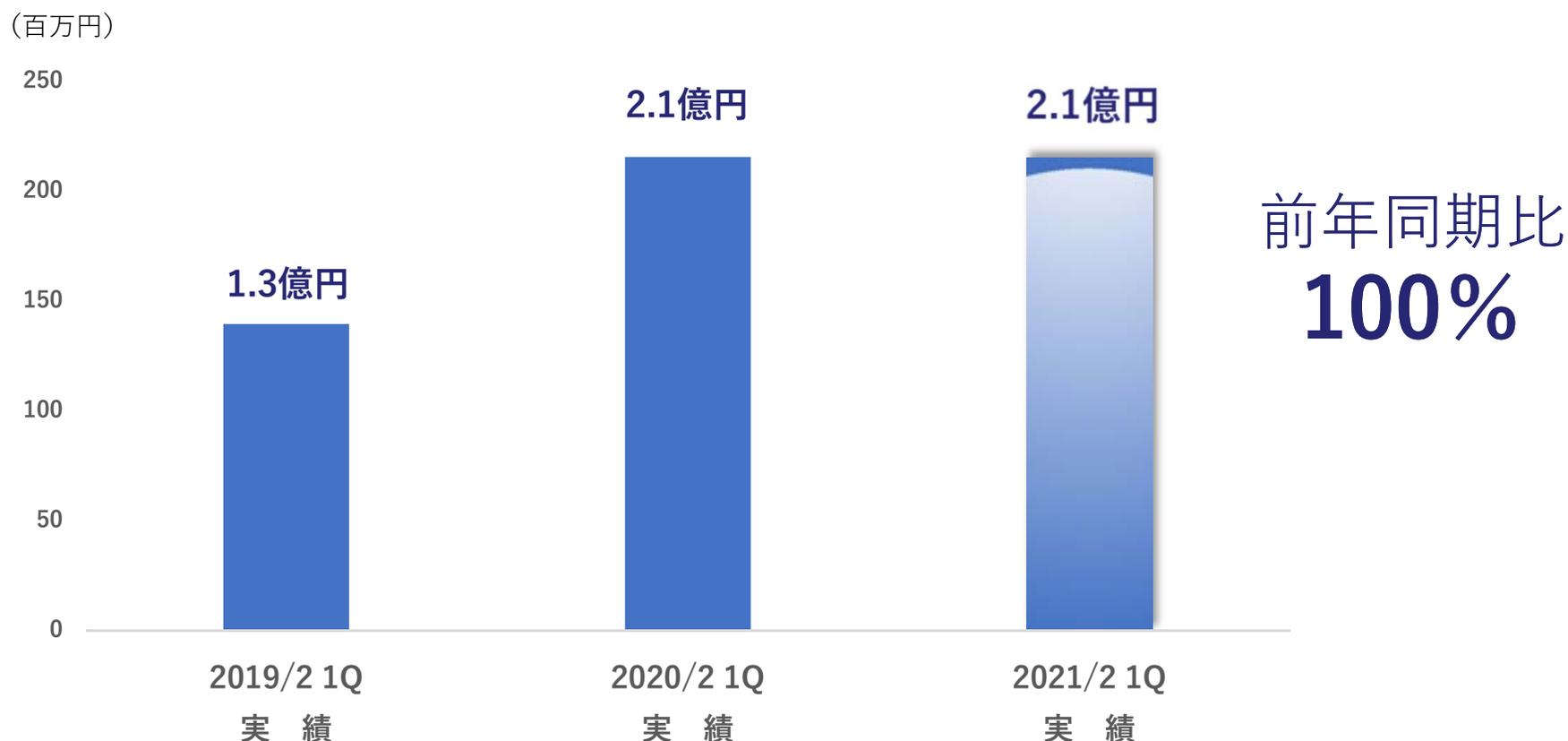
売上高

M & Aでグループ化した子会社が貢献したことにより
前年同期比**110%**となる



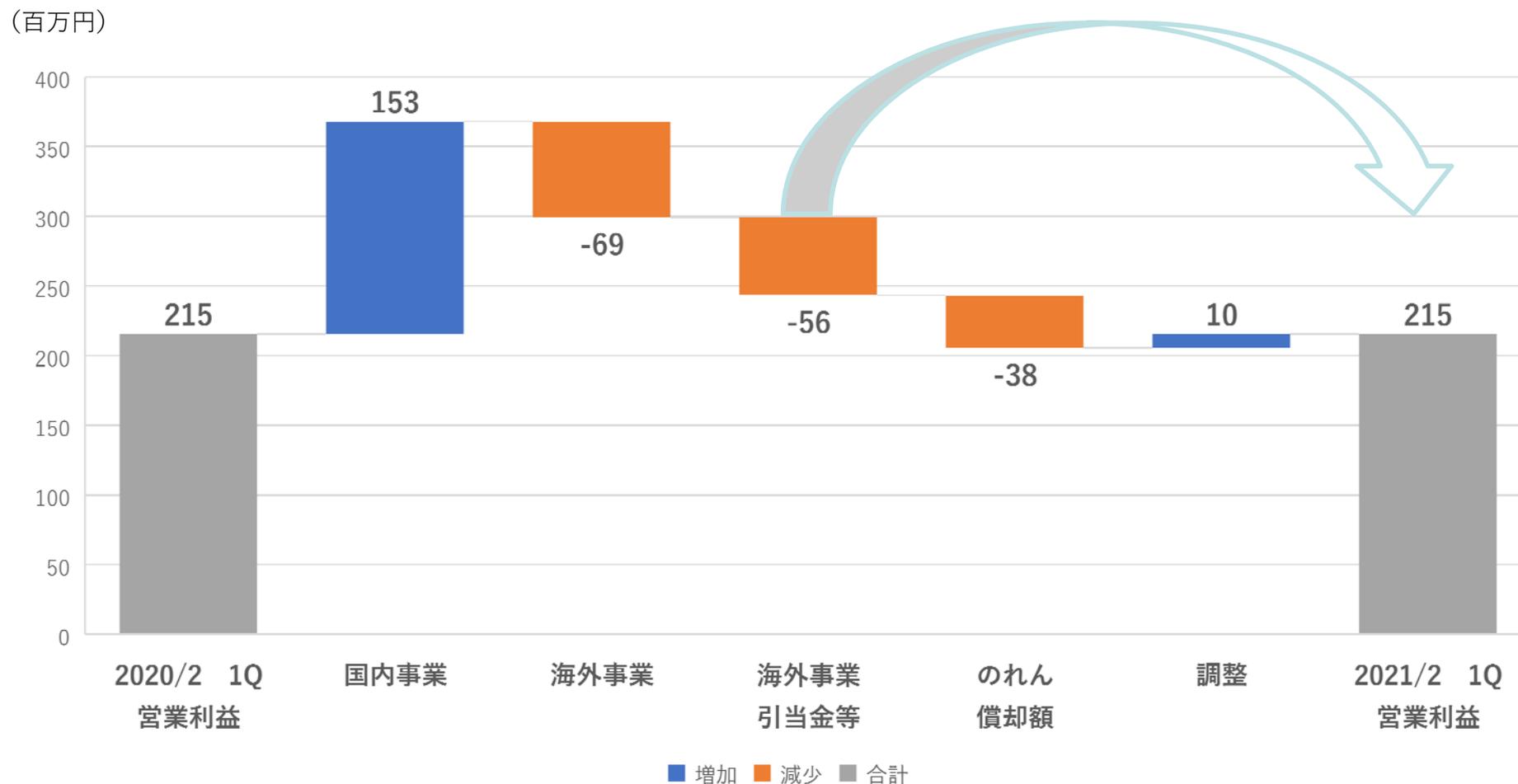
営業利益

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内事業は巣ごもり消費の増加に伴い増益となるも、海外事業は売上減少に伴い減益となり、かつ、NKRにおいて保守的に棚卸資産と売掛金に対する引当金を計上したことから、前年同期比**100%**となる



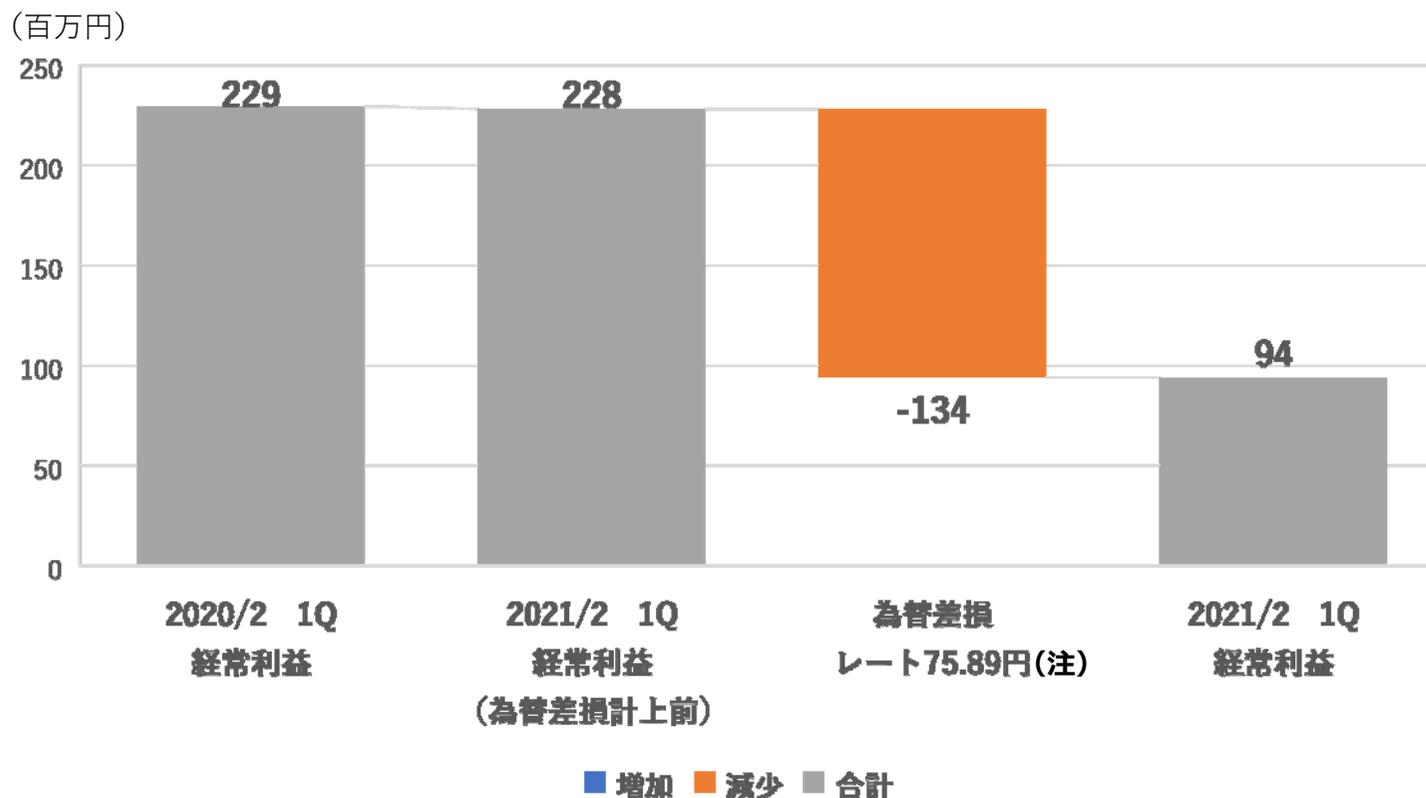
営業利益分析

国内事業は前年同期比+153百万円となるも、海外事業は、前年同期比▲69百万円となり、また、引当金56百万円を計上したことで前年同期比**100%**となる。



経常利益分析

第1四半期末の外国為替相場の変動により為替差損134百万円を計上したことにより、前年同期比**41.0%**となる。



為替換算レート

2020年2月期末
1 シンガポールドル
= 78.47円

2021年2月期1Q末
1 シンガポールドル
= 75.89円

(注) Yoshimura Food Holdings Asiaの円建ての借入金は、2020年3月末の為替レート 1 SGD=75.64円で評価替えしております。

II. 2021年2月期 1Q決算概要

前年同期比は、売上高110.4%、営業利益99.8%、当期純利益0.3%となる。

	2020年2月期 1Q		2021年2月期 1Q		前年 同期比	(単位：百万円)
		構成比		構成比		
売上高	7,027	100.0%	7,757	100.0%	110.4%	【売上高】 ✓ M&Aにより前期にグループ化したPacific Sorby、森養魚場、当期にグループ化したNKRが寄与
売上総利益	1,484	21.1%	1,699	21.9%	114.4%	
販管費	1,269	18.1%	1,484	19.1%	116.9%	【営業利益】 ✓ 新型コロナウイルスの影響により国内事業の増益、海外事業の減益および引当金の計上
営業利益	215	3.1%	215	2.8%	99.8%	
経常利益	229	3.3%	94	1.2%	41.0%	【経常利益・当期純利益】 ✓ 為替差損の影響により減益となる
当期純利益	117	1.7%	0	0.0%	0.3%	

売上高の状況（セグメント別）

当期グループ化したNKRおよび前期グループ化した**子会社が寄与し増収**となる。

	2020年2月期 1Q	2021年2月期 1Q	前年 同期比	(単位：百万円)
製造事業セグメント	4,659	5,669	121.7%	
楽陽食品	1,286	1,437	111.8%	【M&A】 ✓ 前期グループ化したPacific Sorby、森養魚場、当期グループ化したNKRが寄与 【新型コロナウイルスによる影響】 ✓ 国内ではスーパー向けの売上が増加（楽陽食品、純和食品等）、業務用向けの売上は減少（オープン、エスケー等） ✓ 海外ではホテルや飲食店向けの売上が減少（Sin Hin、PS、NKR）
オープン	658	495	75.2%	
純和食品	516	589	114.1%	
エスケーフーズ	900	826	91.8%	
JSTT	352	297	84.4%	
その他（9社）	1,158	1,152	99.5%	
Pacific Sorby	—	476	—%	
森養魚場	—	195	—%	
NKR	—	424	—%	
販売事業セグメント	2,367	2,088	88.2%	
ヨシムラ・フード	1,157	1,088	94.1%	
ジョイ・ダイニング・P	276	337	122.4%	
Sin Hin	1,001	776	77.5%	
合 計	7,027	7,757	110.4%	

※個別の業績につきましては、セグメント間の取引が含まれているため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。

貸借対照表

NKRは前期末に取り込み済みのため、第1四半期末における大きな変動はない。

	2020年2月期	2020年2月期 1Q	前期末増減額	(単位：百万円)
流動資産	14,148	14,461	+312	【流動資産】
現金及び預金	3,015	3,996	+981	✓ 銀行借入をおこなったことにより現金及び預金が増加
売掛金	5,585	5,252	△332	
たな卸資産	5,350	5,077	△272	
その他流動資産	197	133	△63	
固定資産	9,729	9,229	△499	【固定資産】
有形固定資産	4,128	4,006	△122	✓ 減価償却等に伴う有形固定資産の減少
無形固定資産	4,811	4,483	△327	✓ のれん償却に伴う無形固定資産の減少
その他固定資産	789	740	△49	
資産合計	23,877	23,690	△186	
流動負債	9,749	8,392	△1,357	【流動負債】
買掛金	2,757	2,807	+49	✓ 短期借入金を長期借入金に借り換えたことにより減少
短期借入金	3,039	1,535	△1,504	
1年以内返済予定長借	1,513	1,901	+388	
その他流動負債	2,438	2,147	△290	
固定負債	7,449	8,989	+1,539	【固定負債】
長期借入金	7,119	8,757	+1,637	✓ 短期借入金を長期借入金に借り換えたこと、新たに銀行借入を行ったことにより増加
その他固定負債	330	232	△98	
負債合計	17,199	17,381	+182	【純資産】
純資産	6,678	6,308	△369	✓ 外国為替相場の変動により為替換算調整勘定が減少したことにより減少
負債・純資産合計	23,877	23,690	△186	

1. 日本国内

- 新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言下において、スーパー量販店向けの市販用商品（シウマイ、ゼリー、ピーナッツバター等）の売上は増加したが、業務用及び外食産業等向けの業務用商品（カキフライ、とんかつ等）の売上は減少した。
- 緊急事態宣言解除後は巣ごもり需要が一服するも、引き続き市販用商品への需要増が継続している。
- 国内製造子会社の売上は、引き続き堅調に推移する見込み。

2. 海外

- シンガポール及びマレーシアでは、政府による経済活動の制限や外出規制が続いたため、主要取引先であるホテル・飲食店向けの売上は減少傾向が継続した。一方で、スーパー向けの売上は、国内と同様、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた外出自粛により増加傾向が継続した。
- 6月から徐々に経済活動は再開しているが、引き続き入国制限が実施され、ホテル・飲食店向けの売上は減少傾向が継続している。
- 海外子会社の売上は、引き続き軟調に推移する見込み。

III. トピックス

2020年6月1日

オーナー社長の後継者不在により、弊社が株式を譲り受ける。

会社概要

- 社 名 株式会社香り芽本舗
- 代 表 者 代表取締役 北堀 孝男
- 所 在 地 島根県出雲市多伎町口田儀908番地 1
- 設 立 1967年6月
- 資 本 金 13,500千円
- 売 上 高 829百万円
- 事 業 内 容 わかめ、ひじき、めかぶ製品の加工・製造・販売

M&A概要

- M&Aに至った理由
オーナー社長に後継者がいないことによる売却
- M&A後の成長戦略
 - ✓ 弊社グループが保有する、日本全国及びシンガポール等アジアの販路を活用した売上の増加
 - ✓ 弊社グループが持つ生産・品質管理能力や資金力を活用した増産

業績推移

単位：百万円

	2017/4期	2018/4期	2019/4期
売上高	847	830	829
営業利益	64	49	53
当期純利益	17	57	35

(注) 取得費用約60百万円を2021年2月期第2四半期に計上する予定です。

商品（一部）



島根県出雲市に本社を置く、わかめ・ひじき・めかぶ製品メーカー。独自の仕入ルートにおいて厳選した良質な原材料を、長年にわたり培われてきた高度な製造技術により加工することで、主力商品であるソフトタイプの「わかめふりかけ」や「ひじきふりかけ」、その他「わかめスープ」、「わかめごはんの素」等の自社商品からOEM生産まで、高品質かつ多様なラインアップの商品を販売。

IV. Appendix

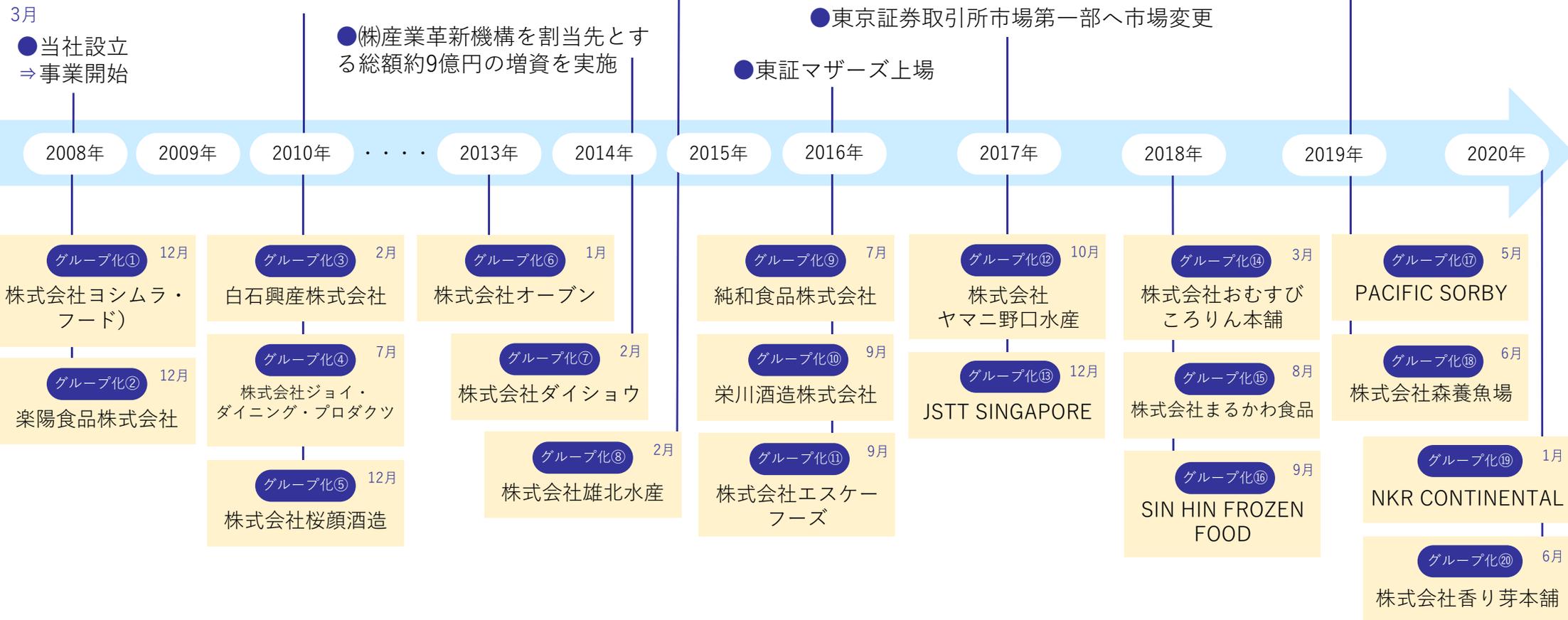
社名	株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
設立	2008年3月18日
代表者	代表取締役CEO 吉村 元久 代表取締役COO 北堀 孝男
本社	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル18階
資本金	527百万円 (2020年2月末現在)
主要株主	吉村元久 39.7%、日本たばこ産業(株) 4.8%、他
連結業績	売上高：29,875百万円 (2020年2月期)
従業員数	連結：1,062人 単体： 22人 (ともに、2020年2月現在)
事業内容	食品関連会社の株式を保有する持ち株会社。 子会社において各種食品の製造・販売。
グループ会社	主要連結子会社：20社
市場	東証1部 (2884)

代表取締役CEO 吉村 元久 プロフィール

出身地	北海道函館市
最終学歴	1988年3月 一橋大学商学部卒業 金融論専攻 1994年6月 ペンシルバニア大学大学院ウォートン校卒業 ファイナンス専攻 (MBA)
職歴	1988年 4月 大和証券株式会社入社 事業法人部 上場企業の資金調達業務 1996年 7月 同社 資産証券部 課長代理 資産の証券化業務 1997年 10月 モルガン・スタンレー証券株式会社入社 事業法人部 エグゼクティブディレクター コーポレートファイナンス業務 2008年 3月 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 代表取締役 (現任)

当社の歩みは、中小食品企業のM&Aと 当社ビジネスモデルへの共感企業からの出資の歴史

- ベンチャーキャピタル5社より出資を受ける
- (株)産業革新機構を割当先とする総額約9億円の増資を実施
- (株)G-7ホールディングスより出資を受ける
- 日本たばこ産業(株) (JT) より出資を受ける
- 東京証券取引所市場第一部へ市場変更
- 東証マザーズ上場
- シンガポールに地域統括会社を設立
アジア地域でのさらなる事業拡大を目指す



グループ会社の概要

製造事業セグメント

販売事業セグメント

楽陽食品



シウマイ・餃子

- 国内5か所に工場
- チルドシウマイの生産量は国内トップシェア

桜顔酒造



日本酒

- 昭和48年岩手県の地場の酒蔵10社で設立
- 県内出荷量2位

純和食品



ゼリー

- 高い技術力と彩の国HACCPに認定された高い品質管理能力

ヤマニ野口水産



水産加工品

- 鮭とばやいくら醤油漬け等北海道の新鮮な原料を使用した水産品を製造

まるかわ食品



ぎょうざ

- 静岡において、秘伝のレシピよぎょうざを製造
- 自社店舗には行列が絶えない人気店

NKR CONTINENTAL



業務用厨房機器販売

- 主にシンガポール及びマレーシアの高級ホテル等へ、業務用厨房機器を設計・製造・施工・販売

ヨシムラ・フード



業務用惣菜

- 業務用食材の企画・販売が主、自社で物流を持たず、販売先へ直送するビジネスモデルを構築

ダイショウ



ピーナッツバター

- ピーナッツバターのパイオニアで、主力商品は30年以上続くロングセラー

オープン



冷凍かきフライ

- 広島産カキを調達する独自ルートを保有
- 鶏なんこつ唐揚等も製造

栄川酒造



日本酒

- 業歴約150年の会津の酒蔵、「栄四郎」は全国新酒鑑評会金賞を受賞

JSTT SINGAPORE



寿司

- シンガポールの工場にて寿司等を製造し、シンガポールの大手スーパーへ販売

PACIFIC SORBY



水産加工品

- シンガポールの主要なホテルに対し、自社加工した冷凍ロブスター、カニなどを販売

香り芽本舗



ふりかけ・スープ

- ソフトタイプのわかめふりかけ、わかめスープ等の自社商品からOEMまで、高品質かつ多様な商品を製造

ジョイ・ダイニング・プロダクツ



宅配等

- 冷凍食品の企画・販売
- 全国の生活協同組合と直接窓口を保有

白石興産



乾麺

- 創業130年
- 宮城県白石市特産の白石温麺が主力商品

雄北水産



まぐろ加工品

- 船凍品のまぐろのみを使用した、ねぎとろ、まぐろ切り落としを製造販売

エスケーフーズ



とんかつ

- 「彩の国優良ブランド」に認証された「むさし野とんかつ」が主力商品

おむすびころりん本舗



フリーズドライ

- フリーズドライ加工、フリーズドライ製品の製造、非常食の販売

森養魚場



鮎 (アユ)

- 岐阜県内3カ所において、高品質な鮎を養殖、販売
- 高度な養殖技術を有し、子持ち鮎の安定生産が可能

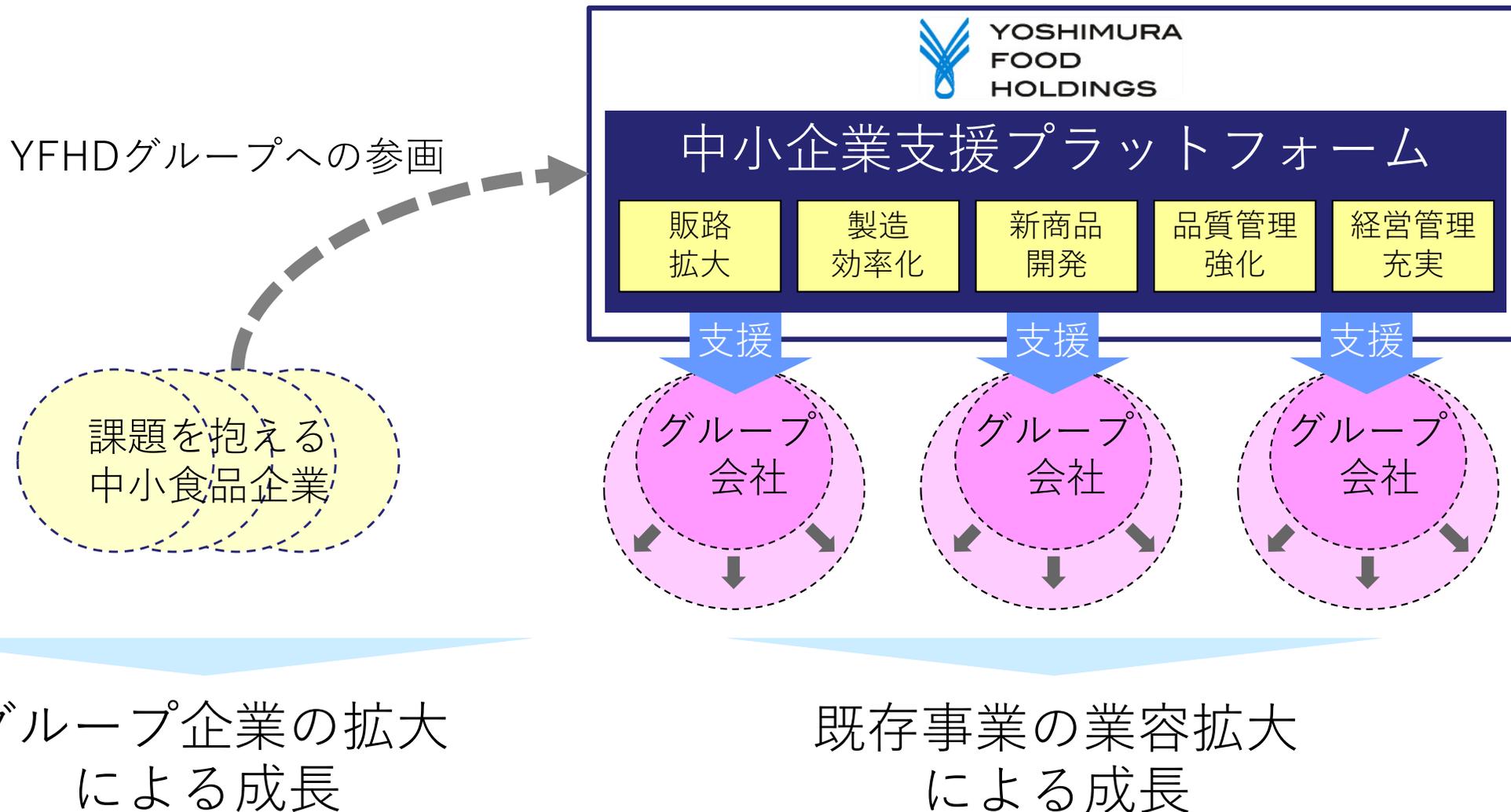
SIN HIN FROZEN FOOD



水産品卸

- シンガポールの水産品卸
- 主力商品は、エビ、ホタテ、カニ等

食品業界においてユニークなビジネスモデルにより、 当社は2つの成長エンジンを有する



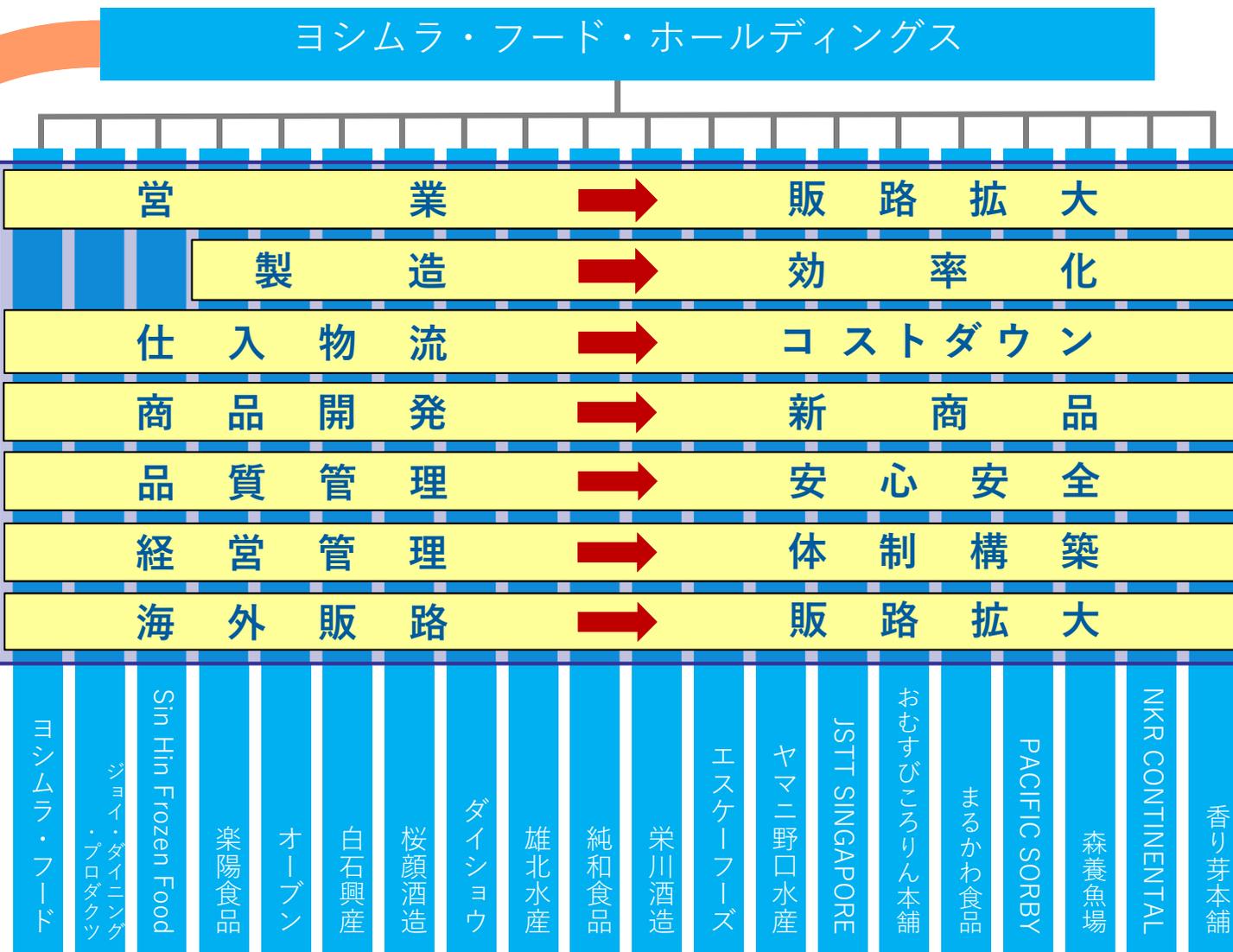
グループ会社を「機能別に統括」することで「相互補完・相互成長」を図る仕組み

統括

ヨシムラ・フード・ホールディングス

グループ会社の有機的な相互補完関係

中小企業支援
プラット
フォーム



会社の壁を越えて
機能ごとに横断的組織
を構築

グループで最もノウハウ
をもった人材が統括
責任者となり、グルー
プを横断的に統括

各社の持つ強みを
グループ全体で共有し
弱みを補い合う